

単身化が進む社会とどう向き合うか ～これからのくらしと生協の可能性を考える～

近年、日本社会では、未婚化・非婚化や晩婚化、出生数の減少を背景に、家族や世帯のあり方が大きく変化しています。かつて主流であった「夫婦と未婚の子どもからなる世帯」に代わり、現在では「単身世帯」が最も多い世帯類型となっています。単身世帯の多くは高齢層ですが、現役世代でも一人で暮らす人が増えています。また「高齢の親と未婚の子が同居する世帯」も増加しており、親との死別を機に単身世帯へ移行する人も少なくありません。

こうした世帯の変化は、私たちのくらしや支え合いのあり方にも影響を及ぼしています。単身世帯をはじめとする規模の小さな世帯ほどリスク分散が難しく、貧困や孤立などの問題を抱えやすいことから、こうした問題をいかに予防・緩和していくのが重要な課題となっています。

第 35 回全国研究集会では、世帯のあり方にかかわらず、誰もがウェルビーイングを実現できる社会をどのように築いていくのかを考えます。また、その社会を支える主体として、生協が果たしうる役割についても議論します。単身世帯の増加は、生協の事業と活動のあり方に大きな影響を与えると予測されます。本研究集会が、今後の生協の方向性について議論を深める場となれば幸いです。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2026 年 11 月 12 日(木)13:30～17:30

会場：主婦会館プラザエフ 7 階 カトレア

(来場・オンライン配信併用 ※来場参加は先着 70 名様までとさせていただきます。)

第 1 部 日本社会の変化と今後の課題を考える

基調講演① 現役単身世帯・単身世帯予備群の意識と行動 (仮)

宮本みち子(放送大学／千葉大学名誉教授)

基調講演② 現役単身世帯・単身世帯予備群の家計と食習慣 (仮)

重川純子(埼玉大学大学院 教授、当研究所理事)

第 2 部 社会の変化に応じた今後の生協のあり方を考える

事例報告① 前田裕保(生活協同組合コープこうべ 地域活動推進部)

事例報告② かし(一般社団法人くらしサポート・ウィズ 理事長)

事例報告③ 百瀬文也(東京ふれあい医療生活協同組合 代表理事専務理事)

※ 敬称略

開催概要（予定）

※ 敬称略

13:00～ 開場（受付開始）／ オンライン配信開始

13:30～ 事務案内

開会挨拶 中嶋康博（日本栄養大学 教授／生協総合研究所 理事長）

趣旨説明 中村由香（生協総合研究所 研究員）

第1部 日本社会の変化と今後の課題を考える

13:50～ 基調講演①「現役単身世帯・単身世帯予備群の意識と行動」（仮）

宮本みち子（放送大学／千葉大学名誉教授）

休憩

基調講演②「現役単身世帯・単身世帯予備群の家計と食習慣」（仮）

重川純子（埼玉大学大学院 教授、当研究所理事）

休憩

第2部 社会の変化に応じた今後の生協のあり方を考える

15:40～ 事例報告① 前田裕保（生活協同組合コープこうべ 地域活動推進部）

事例報告② 渡邊たかし（一般社団法人くらしサポート・ウィズ 理事長）

事例報告③ 百瀬文也（東京ふれあい医療生活協同組合 代表理事専務理事）

休憩

質疑応答・総合討議

宮本みち子、重川純子、前田裕保、渡邊たかし、百瀬文也

司会：中村由香

閉会挨拶 和田寿昭（生協総合研究所 専務理事）

17:30 終了

18:00～ 懇親会

※タイムスケジュールが多少前後する場合がありますので、予めご了承ください。

●登壇者プロフィール

※ 敬称略

みやもと みちこ
宮本 みち子（放送大学／千葉大学名誉教授）



放送大学名誉教授・千葉大学名誉教授。社会学博士。生活保障論、若者政策、生活困窮・孤立・孤独等の問題を中心に、研究と社会活動をしている。厚労省労働政策審議会委員、社会保障審議会委員、文科省中央教育審議会委員、内閣府子どもの貧困対策に関する検討会座長等を歴任。著書として、『若者が無縁化する』、『アンダークラス化する若者たち』（編著）、『下層化する女性たち』（編著）、『東京ミドル期シングルの衝撃』（共編著）ほか多数。

しげかわ じゅんこ
重川 純子（埼玉大学大学院 教授、当研究所理事）



埼玉大学教育学部教授、（公財）生協総合研究所理事。生活経営学・生活経済学を専門分野に、家計の実態・問題、世帯内の経済関係、生活経済の教育などについて研究。著書に『生活経済学』、『持続可能な社会と人の暮らし』（共著）、『家計研究へのアプローチ』（共著）、『生活者の金融リテラシー』（共編著）など。

まえだ ひろやす
前田 裕保（生活協同組合コープこうべ 地域活動推進部）



1966 年神戸市生まれ。日本体育大卒。1989 年、生活協同組合コープこうべ入所。宅配事業、地域活動推進部を経て、2021 年から第 1 地区本部（尼崎市、宝塚市、伊丹市、川西市、猪名川町）本部長。

地域活動の第一線で培ったつながりを強みとし、2026 年 8 月末の定年退職後も地域連携推進にて活動を継続。

わたなべ たかし
渡邊 たかし（一般社団法人くらしサポート・ウィズ代表理事 理事長）



1961 年生まれ。1991 年ふれあい生活協同組合（現生活協同組合パルシステム東京）入協。株式会社マイコープエクスプレス（現株式会社パルライン）、生活協同組合神奈川ゆめコープ（現生活協同組合パルシステム神奈川）代表理事 専務理事、パルシステム生活協同組合連合会執行役員などを経て現職。

ももせ ふみや
百瀬 文也（東京ふれあい医療生活協同組合 代表理事 専務理事）



2010 年千葉大学卒。他法人を経て、2011 年東京ふれあい医療生活協同組合入協。2018 年より現職。東京都生活協同組合連合会常務理事、八王子保健生活協同組合監事を兼務。

本研究集会は、生協総合研究所が厚生労働省「令和 7 年度 社会福祉推進事業」の採択事業として実施した「地域共生社会の実現を目指した単身世帯等を対象とした生協の関わり方についての調査研究事業」の成果をもとに企画しています。本事業の成果をまとめた報告書は、当研究所ホームページで全文を公開しています。詳しくは右の二次元コードよりご覧いただけるほか、厚生労働省ホームページからもアクセスできます。本研究集会の参考資料として、ぜひご一読ください。



●全国研究集会参加費

来場、オンライン、オンデマンド配信視聴のいずれも無料

※ 懇親会にご参加される方は、懇親会費として一律 1 人 1,000 円をお願いいたします。(当日現金でお支払いください。)

●申込方法

下記 URL (または右の 2 次元コード) の参加申込フォームよりお申込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/d6673f88355690>



メールでのお申込みも承ります。次の事項を記載の上、ccij@jccu.coop 宛てにお申込みください。

- ① お名前
- ② ご連絡先 (メールアドレス、電話番号)
- ③ ご所属 (団体会員の役職員・組合員の方は団体名あるいは加入している生協名)
- ④ 参加形態 (来場／オンライン／オンデマンド)
- ⑤ 懇親会参加の有無

※ ご連絡はメールにていたしますので、必ず連絡先のアドレスをお知らせください。

※ 複数名で同時にお申込みの場合は、各参加者について①～⑤をお知らせください。

●申込締切

2026 年 11 月 5 日 (木) ※ 来場参加は先着 70 名様とさせていただきますので、来場参加をご希望の場合はお早目のお申込みをお願いいたします。

●招待 URL 送信のスケジュール

オンラインで参加するための招待 URL 送信は、11 月 9 日 (月) を予定しております。来場参加を予定されている皆様にも、ご連絡を兼ねてお送りいたします。

●オンデマンド配信について

研究集会終了後に、当日の動画のオンデマンド配信を予定しております。詳細につきましては招待 URL 送信時にご連絡いたします。オンデマンド配信のみをご希望の方も参加のお申込みをお願いいたします。

●お問合せ

公益財団法人 生協総合研究所 石川弥生・茂木夏子

E-mail : ccij@jccu.coop TEL : 03-5216-6025

●アクセス (主婦会館プラザエフ)

【JR 中央線・総武線】

四ッ谷駅(麴町口)より徒歩 1 分

【東京メトロ丸ノ内線】

四ッ谷駅(1 番出口)より徒歩 3 分

【東京メトロ南北線】

四ッ谷駅(3 番出口)より徒歩 3 分

東京都千代田区六番町 15 番地

